

**神奈川県中小企業診断協会
協会プロジェクト・委員会等 説明資料**

No.	プロジェクト名	所属部
1	テクニカルショウヨコハマ出展PJT	会員支援 1 部
2	中小企業診断士の日フェスタ	会員支援 1 部
3	創業支援相談会	会員支援 1 部
4	秋のオリエンテーション	会員支援 1 部
5	診断士活動プレゼン大会	会員支援 1 部
6	会員向け研修講師	会員支援 2 部
7	理論政策更新研修委員	会員支援 3 部
8	会報委員会	広報部
9	メルマガ委員	広報部
10	帝国ニュース寄稿	広報部
11	読売新聞寄稿	広報部
12	大学講座	広報部
13	SDGsプロジェクト	公益推進部
14	観光プロジェクト	公益推進部

プロジェクト名	テクニカルショウヨコハマ出展プロジェクト		
所属部	会員支援1部		
定例会日時・頻度	9月～翌1月に毎月1回程度	主な活動場所	Lプラザ・県民センター・Zoom等
担当者氏名連絡先	テクヨコ担当 kaiin@sindan-k.com	人数 (企業内・独立比)	2025年度実績 約50名(2:1)

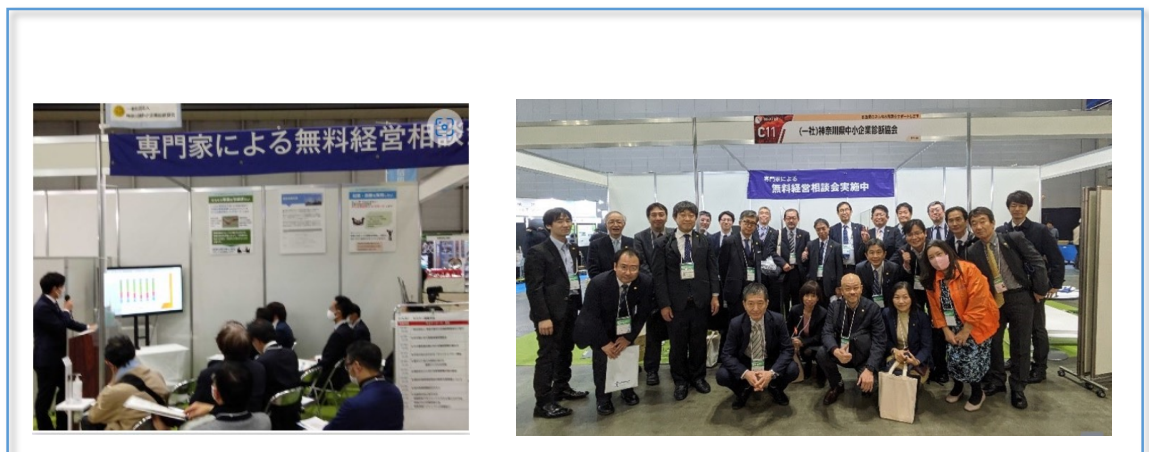
プロジェクトの目的	首都圏最大級の工業技術・製品の総合見本市であるテクニカルショウヨコハマ(以下、テクヨコ/ https://www.tech-yokohama.jp/)への出展を通じ、以下の目的を達成します。①中小企業の経営力向上への貢献②会員の皆さまに「経営相談」「ミニセミナー」および「人脈づくり」の場を提供③神奈川県中小企業診断協会・士会並びに中小企業診断士のPR・プレゼンス向上。
-----------	--

活動の紹介	<p>【事前準備】 準備ミーティング・勉強会等実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画コンセプト、出展テーマ決め、チーム構成 ・広報/SNS発信・配布物作成・動画作成・設営検討 ・経営相談勉強会&ノウハウシート作成・練習・セミナー準備&練習 等 <p>【開催時】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無料経営相談/ミニセミナー30本実施 ・PR活動等
-------	---

公募実績	<p>■実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月末に事務局メンバー募集 秋に経営相談員・ミニセミナー講師等募集 毎年50名を超える一大プロジェクトです。 <p>■参加メリット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営相談やミニセミナー講師・広報を経験! ・実務従事ポイントを獲得! ・協会内で一気に人脈が拡大!
公募予定	

メッセージ	<p>テクヨコプロジェクトは学びの場・ネットワークづくりの場です。ブースに来場頂いたお客様との無料経営相談やミニセミナーを通じて、診断士活動の一步として経営相談の実績・経験を得たり、自身の知識を公開する場を提供しています。経営相談未経験者も診断士ベテランの方もお互いに協力しながら、一致協力して、テクヨコ出展を成功に導くために活動します!、</p>
-------	--

協会テクヨコHP

プロジェクト名	中小企業診断士の日フェスタ		
所属部	会員支援1部		

定例会日時・頻度	7月～10月で5回程度開催	主な活動場所	協会事務所・Zoom等
担当者氏名連絡先	フェスタ担当 kaiin@sindan-k.com	人数 (企業内・独立比)	令和7年プロジェクトメンバーは公募メンバー8名(企業内6名、独立2名)、執行役員2名で構成

プロジェクトの目的	昭和23年11月4日、中小企業庁により「中小企業診断実施基本要領」が制定され、「中小企業診断制度」が発足。平成28年度に11月4日を「中小企業診断士の日」と名付け、全国の各診断協会がPR活動を実施しています。神奈川でも、中小企業診断士の存在をより多くの方に知っていただき、経営課題の解決のお役に立てるようなPR活動を行っています。
-----------	---

活動の紹介	イベントに「フェスタ」と名付け、「中小企業診断士の社会的役割と活動」「(一社)神奈川県中小企業診断協会・士会」の紹介をテーマに、令和7年度は11月4日(火)横浜そごう前地下広場にて、無料経営相談会/クイズ/のぼり・横断幕のPR/パネル掲示/チラシ配布/動画配信/ノベルティグッズ配布を実施。当日は、大変多くの方々とお話ができ、3窓口設置した相談ブースがほぼ常時埋まっている状況で、盛会となりました。かながわキンタローの着ぐるみでPRも実施しました。
-------	--

公募実績	<p>■公募実績</p> <p>令和7年度 7月 プロジェクトメンバー募集</p> <p>得意分野を活かして、事前の準備は広報・動画チーム、会場・運営チームで活動。当日は全員で経営相談(実務ポイント取得)とPRに取り組みました。</p> <p>令和8年度 プロジェクトメンバー募集。</p> <p>プロジェクトの運営メンバーは公募により毎年変わります。</p>
公募予定	

メッセージ	<p>新たな取り組みに複数チャレンジし、多くのノウハウも獲得できました。前期の経験を踏まえ、本年度は更に充実・進化した内容で、社会における診断士の役割・存在意義を世に伝えるべく、診断士の日フェスタを企画して参りたいと思います。</p> <p>中小企業診断士の日フェスタプロジェクトは、診断士の社会的意義を伝え、PRする経営相談を実地に体験でき、様々な方とのネットワーク作りができます。自主的に様々な役割を担うことで、中小企業診断士であることを実感できます。</p>
-------	--

中小企業診断士の日
フェスタ協会HP




プロジェクト名	創業支援相談会		
所属部	会員支援1部		

定例会日時・頻度	2回～3回(勉強会含)	主な活動場所	協会事務所・Zoom等
担当者氏名連絡先	相談会担当 kaiin@sindan-k.com	人数 (企業内・独立比)	令和7年プロジェクトメンバーは各回公募メンバー16名(企業内10名、独立6名)、執行役員2名で構成

プロジェクトの目的	<p>新規の取り組みとして令和6年度に「創業支援」をテーマとした無料経営相談会を開始。令和7年は2回開催しました。</p> <p>目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ①地域貢献、起業・創業を目指す方々へのアドバイス ②会員(我々)の創業支援相談の機会創出及び経験
-----------	---

活動の紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・2025年9月11日(木)、2026年3月10日(火)11-20時 各回16名(2交代制)で経営相談を実施 横浜そごう地下広場前 【テーマ】夢をかたちに!あなたの創業をサポートします ・ちらし、FaceBook広告(Instagram)での“創業”をPR。 ・会場の“のぼり”を創業・起業・副業にしてPR。 ・創業支援での事前勉強会の開催・ブースに創業に関する紹介資料設置 <p>令和8年度も開催を予定しています。</p>
-------	--

公募実績	<p>■公募実績 令和7年度 各回でプロジェクトメンバー(企画・経営相談員)募集 事前の準備担当および当日は全員で経営相談(実務ポイント取得)とPRに 取り組みました。</p>
公募予定	<p>■公募予定 令和8年度 プロジェクトの運営メンバーは公募により毎年変わります。</p>

メッセージ	<p>企業内・独立・経営経営相談未経験・ベテラン等多様なメンバーで協力して進めています!新たなチャレンジをしたい方、お待ちしております!</p> <p>勉強会も充実。創業に詳しい講師から学べます&ロールプレイングでの練習あり</p>
-------	--

<p>創業支援相談会 協会HP</p> 			
--	---	--	---

プロジェクト名	秋のオリエンテーション		
所属部	会員支援 1 部		

定例会日時・頻度	9月～11月 3 回程度	主な活動場所	Zoom・協会事務所
担当者氏名連絡先	秋オリ担当 kaiin@sindan-k.com	人数 (企業内・独立比)	7名 (5 : 2)

プロジェクトの目的	入会を検討中の中小企業診断士の皆様や、主に春以降入会の会員の方などに向けて当協会の活動を紹介するイベント。リアル&オンラインのハイブリッド形式で開催、多くの方にご参加いただいています。企画準備と当日運営を担います。
-----------	---

活動の紹介	<p>イベント事前準備や当日運営を会員支援 1 部の担当理事・執行役員と進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■打ち合わせの参加。オンライン(zoom)等で全体での打ち合わせを3-4回程度、その他必要に応じて個別打ち合わせを行います。 ■事前準備資料作成(投影資料、配布資料、運営マニュアル等を作成) ■広告宣伝(チラシの作成、SNS(協会Facebook)掲載文章作成などを行います) ■当日運営設営準備、受付、司会、オンライン配信管理、進行管理
-------	--

公募実績 公募予定	<p>■毎年、8月ごろに募集をしています。</p>
--------------	---------------------------

メッセージ	<p>日常、あまり時間がない方もプチ協会活動として、取り組むことができます。</p>
-------	--

秋オリ協会HP




2025 Autumn Orientation
秋のオリエンテーション
協会送付紹介と入会説明会
10/13
14:00-18:30
参加無料!

会場
かながわ労働プラザ3階 ABホール
J東京池袋北線・榎原駅
石川町駅 中層出口(北口) 徒歩3分
「こじんまりとした」
「多岐にわたる」

PROGRAM
【第1部】14:00-16:30
【第2部】16:30-18:30

「オールがなわ」の魅力を感じよう!

1800名超の会員が所属する県協会入会のメリットと魅力!



プロジェクト名	診断士活動プレゼン大会		
所属部	会員支援 1 部		
定例会日時・頻度	7月～9月初旬 4回程度ミーティング	主な活動場所	Zoom等
担当者氏名連絡先	プレゼン大会担当 kaiin@sindan-k.com	人数 (企業内・独立比)	3名(2:1)

プロジェクトの目的	<p>2019年度からスタートしたイベントです。</p> <p>(1)会員の診断士活動の発表の場の提供</p> <p>(2)新たな人脈形成や異なる専門を持つ会員同士の連携機会の提供</p> <p>(3)プレゼン経験機会の提供</p>
-----------	--

活動の紹介	<p>2025年3月1日(日) 15:00-18:00 25分間×6 テーマ登壇者 約200名視聴 (ハイブリッド)</p> <p>■経営・営業・現場を一つに！中小製造業をV字回復へ導く売上改善支援(花村大祐会員)</p> <p>■事業承継期における経営理念策定の過程と後継者育成 (竹内可奈会員)</p> <p>■企業内診断士による製造業中小企業への伴走支援 (半貫貴久会員)</p> <p>■同期会から始まった地元の診断士会 ～地域貢献も経営支援も～ (藤井寿隆会員、増田竜雄会員)</p> <p>■スタートアップ支援における中小企業診断士の役割 (大場晋介会員)</p> <p>■診断士のためのSNSアルゴリズム最前線～投稿が伸びない理由と対策 (櫻井法恵会員)</p>
-------	--

公募実績 公募予定	<p>毎年、運営スタッフを募集しています。</p> <p>お任せしている業務は下記となります。</p> <p>(1) 事前準備：事務局打合せ参加、タイムチャート作成、リハーサルなど</p> <p>(2) 当日運営：会場設営、司会、Zoom操作、タイムキープ、観客誘導 表彰状作成など</p> <p>(3) 広報活動：チラシ作成、Facebookや協会HPを活用した広報など</p>
--------------	--

メッセージ	<p>■運営スタッフは、入会1、2年目の方で協会活動やイベント運営を経験したい方・久しぶりに協会活動に取り組みたい方にも最適な機会となっています。活躍されている登壇者のお話を近くで聴くことも刺激になります！</p> <p>※スタッフとは別に、登壇者も毎年公募しています。今期はこれから公募予定</p>
-------	--

プレゼン大会協会HP



**診断士活動
プレゼン大会**

参加費
無料

～診断士の「今」を知るチャンス！～

2026年3月1日(日) 15:00～18:00

・会場 (かながわ労働プラザ3階Bホール) /オンライン (ZOOM)

同時開催

ナレッジの共有
神楽川同協会に所属する会員の皆さんや有志・登録が活動が活発なプレゼン大会です。中小企業診断士のネットワーク、最新情報を知ることができます。

どなたでも聴講できます
当協会加入の中小企業診断士、試験合格者、専任講師があなたの指導者になります。

お申し込みはこちら
<https://sindan-k.com/support/achievement/>

<p>顧客の心を動かして 企業支援の輪を広げます</p> <p>登壇者 花村 大祐 殿</p> <p>中小企業診断士として10年以上の経験を持つ、中小企業診断士として活躍中。経営支援の輪を広げ、企業支援の輪を広げたい。</p> <p>中小企業診断士、経営・営業・現場を一つに！中小企業診断士による売上改善支援。</p> <p>中小企業診断士、経営・営業・現場を一つに！中小企業診断士による売上改善支援。</p>	<p>顧客の声音を引き出して 未来ある事業承継を実現します</p> <p>登壇者 竹内 可奈 殿</p> <p>中小企業診断士として10年以上の経験を持つ、中小企業診断士として活躍中。事業承継のサポートを希望し、事業承継のサポートを実現したい。</p> <p>中小企業診断士、事業承継期における経営理念策定の過程と後継者育成。</p> <p>中小企業診断士、事業承継期における経営理念策定の過程と後継者育成。</p>	<p>企業内診断士による 伴走支援の道筋が見えるまで</p> <p>登壇者 半貫 貴久 殿</p> <p>中小企業診断士として10年以上の経験を持つ、中小企業診断士として活躍中。企業内診断士による伴走支援を実現したい。</p> <p>中小企業診断士、企業内診断士による製造業中小企業への伴走支援。</p> <p>中小企業診断士、企業内診断士による製造業中小企業への伴走支援。</p>
<p>シン・伴走支援で 経営支援も地域貢献もできるまで</p> <p>登壇者 藤井 寿隆 殿 増田 竜雄 殿</p> <p>中小企業診断士として10年以上の経験を持つ、中小企業診断士として活躍中。経営支援と地域貢献の両方を果たしたい。</p> <p>中小企業診断士、同期会から始まった地元の診断士会。</p> <p>中小企業診断士、同期会から始まった地元の診断士会。</p>	<p>スタートアップ支援で 診断士の活動領域が広がるまで</p> <p>登壇者 大場 晋介 殿</p> <p>中小企業診断士として10年以上の経験を持つ、中小企業診断士として活躍中。スタートアップ支援のサポートを希望し、スタートアップ支援のサポートを実現したい。</p> <p>中小企業診断士、スタートアップ支援における中小企業診断士の役割。</p> <p>中小企業診断士、スタートアップ支援における中小企業診断士の役割。</p>	<p>アルゴリズムを押さえて SNS発信の神になりま</p> <p>登壇者 櫻井 法恵 殿</p> <p>中小企業診断士として10年以上の経験を持つ、中小企業診断士として活躍中。SNS発信のサポートを希望し、SNS発信のサポートを実現したい。</p> <p>中小企業診断士、診断士のためのSNSアルゴリズム最前線。</p> <p>中小企業診断士、診断士のためのSNSアルゴリズム最前線。</p>

公募名	会員向け研修講師		
所属部	会員支援2部	担当者氏名連絡先	森内尚博 kaiin@sindan-k.com

概要	<p>神奈川県中小企業診断協会では、会員の皆様の実践力向上を目的として、下記のような多彩な会員向け研修を行なっています。</p> <p>スターターキット：新たに活動開始する診断士に現場で役立つノウハウを提供 新実践塾：事例を通じて「現場力」を磨く参加型の講座 専門道場：診断士が「今」関心をもっているテーマを取り上げ、専門力を深掘り マスターコース：教科書では得られない実践力を修得</p> <p>スターターキット、新実践塾、専門道場の講師は会員公募としており、マスターコースの講師は内容により会員公募の場合もあります。講師には、謝金をお支払いします。尚、2026年度はより充実した研修内容にすべく、見直しを進めております。</p>
----	---

公募実績	<p>・公募実績 2025年度は、スターターキット3講座、新実践塾5講座、専門道場3講座、マスターコースの講師計14名を会員公募としました。</p>
公募予定	<p>・公募予定 2026年度の研修計画は策定中ですが、例年、講師公募はスターターキットは4月末頃、新実践塾と専門道場は6月上旬月頃を予定しています。公募は、スターターキット以外は研修テーマ提案も含めた公募となり、公募通知は会員向けのメーリングリストで行います。</p>

メッセージ	<p>講師の選考は、①会員にとって有益なテーマであるか、②カリキュラムに具体性があり、テーマと整合してるか、③そのテーマに関する知識や経験があるか（企業内での知識や経験でもOKです）を観点としています。</p> <p>入会年次は一切選考基準には含めていません！実際に新入会員のかたからも応募があり、選考の結果、講師をして頂いたケースもあります。</p> <p>ご自身の研修コンテンツの作成や研修講師実績とすることもできるため、振るっての応募をお待ちしています！もちろん受講生としての参加も大歓迎です！</p>
-------	--

県協会HP
研修プログラム



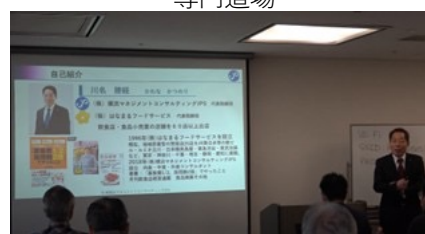

新実践塾講義



専門道場



新実践塾グループワーク



マスターコース

プロジェクト名	理論政策更新研修委員		
所属部	会員支援3部		

定例会日時・頻度	不定期で年数回開催	主な活動場所	現場運営：崎陽軒本店、かながわ労働プラザ、AP横浜、川崎市産業振興会館、他 委員会：かながわ県民センター等
----------	-----------	--------	--

担当者氏名連絡先	国領 典彦 kikaku@sindan-k.com	人数 (企業内・独立比)	20名 (企業内14・独立6)
----------	------------------------------	-----------------	-----------------


プロジェクトの目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県協会主催の理論政策更新研修の現場運営対応 (司会、アンケート集計、受付、会場係、講師対応を分担) ・ 次年度研修講師の探索・交渉・講演に向けた準備活動 		
-----------	---	--	--

活動の紹介	<p>令和7年度の活動実績</p> <p>①研修現場運営対応 (年度で委員一人当たり4~5回担当) リアル研修 : 12回 [令和7年6月から令和8年2月まで*] リモート研修 : 3回 [令和7年10月2回*、令和8年1月] ※ハイブリッド形式での実施 (10月1回) 含む</p> <p>②次年度研修講師探索活動 (一人年度2~4名程度講師発掘) 令和7年8月から令和8年3月までに講師計28名 (内17名を委員が発掘) を選定</p> <p>③委員会 (①②のキックオフ会議、中間進捗会議および総括会議) 現場運営委員 : 令和7年6月、令和8年2月の2回実施 講師探索委員 : 令和7年8月、10月、12月、令和8年2月の4回実施</p>		
-------	---	--	--

公募実績	令和7年度の公募実績 公募人数 : 20名 (研修運営委員 : 14名 + 講師探索委員 : 6名)		
公募予定	令和8年度公募予定 (例年どおり6月初旬予定) 公募人数 : 19名 (研修運営委員 : 13名 + 講師探索委員 : 6名)		

メッセージ	<p>理論政策更新研修は、中小企業診断士の更新要件のひとつである「新しい知識の補充に関する要件」として実施する研修です。主に中小企業診断士が講師として実施されている他機関の研修と異なり、神奈川県協会は、中小企業経営者の講演を中心として、より実践的な支援に役立つ研修を提供しており、「神奈川県協会といえば理論研修!」と、県協会の売りのひとつになっています。この定評ある研修の現場運営に携わることで、様々な学び・経験が得られるとともに、受講としては認められませんが、現場運営の合間に有益な講義を聴講できるメリットがあります。また、次年度の研修講師の探索活動に携わることで、経営者、他士業、行政等の人脈が広がり、自身の診断士としての活動領域の拡大につながるというメリットもあります。詳細に関しては、相談会または上記担当者までお問合せください。皆様の応募をお待ちしています。</p>		
-------	---	--	--

県協会HP
令和7年度理論政策更新研修紹介ページ




プロジェクト名	会報委員会		
所属部	広報部		

定例会日時・頻度	不定期（2～3か月ごとに委員会を開催）	主な活動場所	リモート（Zoom）
担当者氏名連絡先	鷹野慎太郎 kikaku@sindan-k.com	人数 （企業内・独立比）	5～7名（1:1）

プロジェクトの目的	<p>①協会の会報誌として、協会の活動を協会員に定期的に伝え、協会活動への積極的な参加を促す。</p> <p>②活躍する協会員の紹介、同期会活動の紹介など紙面を通じて、会員間の相互理解を深める。</p> <p>③行政・金融機関などの支援機関への取材を通じ、相互理解を深め、関係性強化を図る。</p>
-----------	---

活動の紹介	<p>四半期毎（8月、10月、1月、4月）に会報誌を発行。令和7年度はNo.123～126を発行。</p> <p>①会報委員会において、執筆記事内容・紙面構成の確認。</p> <p>②毎号、委員の連載記事・企画記事（令和を築く診断士・診断士の匠等）ならびに公的機関へのインタビュー記事を執筆。</p> <p>③No.124では養成機関出身者座談会、No.125では同期会（令7会）座談会、No.126ではベテラン診断士の同期会（平25・26会）座談会を掲載。</p> <p>④協会理事・執行委員による執筆記事と合わせ、会報誌として発行。</p> <p>⑤協会ホームページ、メーリングリストなどによる会員および支援機関への配布。</p>
-------	---

公募実績 公募予定	例年、5月初旬頃に会報委員を公募致します。
--------------	-----------------------

メッセージ	<p>興味のある方はぜひ積極的に応募して下さい、執筆経験がなくとも大丈夫です。執筆するテーマは公序良俗に反しないこと、他機関や他人への誹謗中傷は厳禁、特定の商品・サービス等のセールス・宣伝活動は禁止等のルールはありますが、基本的に自由です。皆さんの得意分野のテーマで執筆いただけます。</p> <p>会報委員として活動することにより、以下のようなメリットがあります！</p> <p>①診断士としてのスキルアップにつながります。</p> <p>②記名記事なので診断士としての自分の存在を知ってもらえます。</p> <p>③会報・メルマガ記事はHPIにも掲載され、署名記事が後々まで名刺代わりになります。</p>
-------	--

QRコード（HP）





会報125号

プロジェクト名	メルマガ委員		
所属部	広報部		

定例会日時・頻度	原則キックオフMTG1回 (必要に応じて臨時MTG実施)	主な活動場所	オンライン
担当者氏名連絡先	具志堅智彦 kikaku@sindan-k.com	人数 (企業内・独立比)	昨年実績 11名 (企業内4名・独立7名)

プロジェクトの目的	<p>会員アンケート結果から、県協会の情報取得手段がメールである会員が多いことがわかった。県協会から会員向けのメルマガを発行し、自らHPを見に行くことの少ない会員に対して、MLを活用して情報に到達できるようにし、情報共有を進めて県協会活動の活性化を図る。</p>
-----------	---

活動の紹介	<p>以下のいずれかをテーマに1人1~2記事(1,500文字程度)作成。</p> <p>①県協会への参加レポート 協会のさまざまな活動(各種研修やイベント等)に参加した体験談をフレッシュな目線で伝える。</p> <p>②自分の強みPRレポート 自分の経験やノウハウを整理し、中小企業支援に活かせるノウハウをコンテンツとして伝える。</p>
-------	---

公募実績 公募予定	<p>公募実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月 春募集 (10~12名程度) ・11月 秋募集 (5~7名程度) <p>※秋募集は春募集の参画者数により募集実施の有無、募集数が変動</p>
--------------	---

メッセージ	<p>メルマガ委員に参画するメリットは以下があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メルマガ執筆経験は、即自分の実績となりアピールポイントとして使える ・神奈川県協会の所属診断士に自分のことを知ってもらえる ・診断士として必要な「書く」スキルを磨くことが出来る ・記事に自分のHP URLを記載することで協会HPから被リンクを得られSEO効果が期待できる <p>定例会がないので時間的な拘束が少なくスキマ時間に活動できることも特徴です。皆さまのご参画楽しみにお待ちしています。</p>
-------	--



自分の強みPRレポートのテーマ例

最高の意思決定を導く
法人営業・BtoB
マーケティング

組織の
不正を防ぐ
コンサルティング

プロジェクト名	帝国ニュース寄稿		
所属部	広報部		

定例会日時・頻度	原則として執筆開始前1回	主な活動場所	オンライン
担当者氏名連絡先	遠田 昌明 kikaku@sindan-k.com	人数	2025年実績12名で12回

プロジェクトの目的	帝国ニュースへの寄稿を通じて、神奈川県 <small>の</small> 中小企業の経営課題の解決に寄与し、中小企業診断士および当協会のプレゼンス向上に貢献する
-----------	--

活動の紹介	帝国データバンクが発行する「帝国ニュース神奈川県版」(発行約1万部) およびWeb版への連載記事の執筆。1記事1200文字程度、掲載は月1回。 一つのテーマで3名が署名・顔写真付き記事を寄稿するのが基本。執筆者は、テーマごとに企業内・独立を問わず募集し、選定された執筆者間で具体的内容・執筆分担を決めます。 執筆テーマ例： 補助金活用、従業員エンゲージメント、賃金制度、取適法など
-------	--

公募実績	2025年5月(3名)、8月(3名)、11月(3名)、2026年2月(6名)
公募予定	26年度も、3か月ごとに公募を行う予定です。

メッセージ	診断士として必要な「書くスキル」を磨くことができることはもちろんですが、執筆実績は執筆者ご本人の支援分野・実力アピールの場になります。 支援機関等へ応募する際には、「活動実績」「執筆実績」などが問われます。人々に広く認知されている媒体への執筆実績は、独立して活動を開始する際の武器の一つとすることができます。 執筆者には掲載紙が献本されますので、実際の営業活動に活用できます。
-------	--

帝国データバンク
帝国ニュース紹介サイト



2025年8月25日号巻頭記事



11月27日号巻頭記事



プロジェクト名	読売新聞寄稿		
所属部	広報部		

定例会日時・頻度	原則として執筆開始前1回	主な活動場所	オンライン
担当者氏名連絡先	遠田 昌明 kikaku@sindan-k.com	人数	2025年前半実績6名で6回 (予定)

プロジェクトの目的	読売新聞神奈川版への寄稿を通じて、神奈川県 <small>の</small> 中小企業の経営課題の解決に寄与し、中小企業診断士および当協会のプレゼンス向上に貢献する
-----------	--

活動の紹介	「読売新聞神奈川版」(発行約60万部)への連載記事の執筆。1記事1000文字程度、掲載は月1回。 毎週火曜日の経済コーナーの一部を借用し、月に1回、中小企業へのアドバイスなどを執筆した署名記事掲載します。執筆者は、テーマとともに <u>企業内・独立を問わず</u> 募集します。 執筆テーマ例： 診断士の活動紹介、人材難対策、支援機関紹介など
-------	---

公募実績	公募実績 2024年10月(6名)、2025年4月(6名予定)
公募予定	公募予定 26年度も、半年ごとに公募を行う予定です。

メッセージ	読売新聞は県内の新聞では最大の部数を発行しています。そこへの執筆はめったにできない貴重な体験であり、執筆者ご本人の支援分野・実力アピールの場になります。 支援機関等へ応募する際には、「活動実績」「執筆実績」などが問われます。人々に広く認知されている媒体への執筆実績は、独立して活動を開始する際の武器の一つとすることができます。
-------	--

協会ホームページ



2026年1月27日掲載記事	2月17日掲載記事
	

プロジェクト名	大学講座
所属部	広報部

定例会日時・頻度	必要に応じて	主な活動場所	神奈川大学・神奈川工科大学・関東学院大学
担当者氏名連絡先	花村 大祐 kikaku@sindan-k.com	人数 (企業内・独立比)	2025年実績5名 (企業内2名・独立3名)

プロジェクトの目的	<p>大学への講座提供を通じて、多様性を持つ専門家(エキスパート)集団として地域社会と産業の振興に貢献し、かつ、中小企業診断士の認知度向上を目的とします。</p> <p>また、講義を提供する会員にとっては、講義経験・経歴の蓄積、人脈形成、新たなキャリア開拓の可能性など、診断士スキル向上に資するものと考えます。</p>
-----------	---

活動の紹介	<p>目指す講座の特徴は以下の2点です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な業界背景を持つ中小企業診断士による実践的な視点の提供 ・ケーススタディやワークショップを通じた参加型学習 <p>以下の3点の効果を学生にもたらすことを目指しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生の理論知識の実践的応用力の向上 ・ビジネス現場に対する深い洞察力の育成 ・学生の就職活動やキャリア選択におけるミスマッチの減少
-------	--

公募実績	<p>公募実績</p> <p>令和6年度：テスト開催として広報部で3名実施</p> <p>令和7年度：25年2月に公募実施、1校で5名実施</p> <p>令和8年度：26年3月に公募実施、3校で合計10名を選定予定</p>
公募予定	

メッセージ	<p>講座提供にあたって重視したいのは、「知識」と「現実世界」を「繋ぐ」ことです。学生の皆様は、これまで授業やゼミを通じて様々な知識をインプットしてきました。その知識を今後活かしていくために必要なのは、知識と現実世界とのうまい繋がりを見つけ、それを知恵として現実世界に応用していくことです。講座を通じて、知識と現実世界のつながりを体験し、学びを深めていただきたいと思います。</p>
-------	---

協会ホームページ




プロジェクト名	SDGsプロジェクト		
所属部	公益推進部		

定例会日時・頻度	毎月第3日曜日 10:00～	主な活動場所	かながわ県民センター/労働プラザ
担当者氏名連絡先	大柳 慎一 koeki@sindan-k.com	人数 (企業内・独立比)	24名(企業内17・独立7)

プロジェクトの目的	<p>①神奈川県のSDGs施策に対して、有償・無償に関わりなく、中小企業診断士の社会的使命を持って地方自治体と連携し中小企業を支援する。</p> <p>②会員が、中小企業診断士であることの誇りを持って、地方自治体の事業に取り組む機会を提供し、その成果を広く協会会員へフィードバックする。</p>
-----------	---

活動の紹介	<p>2025年度は、2025年2月に神奈川県と締結したSDGs推進協定に基づき、県とより一層連携した活動を行った。A・B・Cの3チーム体制で、Aチームは県内企業への取材を通じてSDGs事例集をメインで作成し、Bチームは脱炭素支援モデルを構築するとともにテクヨコでセミナーを実施した。Cチームは働き方・多様性等をテーマにセミナー企画やアンケート調査を行った。また、県パートナーミーティングでの相談対応、個社支援、みんなのSDGs審査・表彰など、県と連携したSDGs普及促進活動を展開した。</p>
-------	--

公募実績	第1期は、2022年6月に公募、25名で2022年7月から2023年3月まで活動
公募予定	第2期は、2023年6月に公募、18名で2023年7月から2024年6月まで活動
	第3期は、2024年7月に公募、16名で2024年7月から2025年6月まで活動
	第4期は、2025年6月に公募、24名で2025年7月から2026年6月まで活動
	第5期は、2026年6月に公募、20名で2026年7月から2027年6月まで活動予定

メッセージ	<p>当協会は、神奈川県とSDGs推進協定を締結し、県内中小企業のSDGs推進に一層貢献する体制を整えた。本プロジェクトには、企業内・独立・新人・ベテランを問わず、公益に資する活動に意欲を持つ診断士が参加している。県との連携事業であるため責任は重いが、公的機関との協働の進め方を学ぶ貴重な機会であり、セミナー講師や個社支援ではスキル向上と実務ポイント取得の双方が可能である。さらに、6月12日には第4期の集大成としてプロジェクト主催セミナーを開催し、成果発信の場を広げる予定である。今後も県との協働を深化させ、SDGs普及、個社支援、成果物の発信を通じて診断士としての実践の場を拡大していく所存である。</p>
-------	---



神奈川県と一般社団法人神奈川県中小企業診断協会
(は「SDGs推進協定」を締結しました
連携して県内中小企業のSDGsの取組を支援

2025年02月05日
記者発表資料



県は、SDGsの実現に向け、企業等のSDGsに関する行動を後押ししています。このたび、県と一般社団法人神奈川県中小企業診断協会(以下「協会」という。)は、互いに連携し、中小企業のSDGsの取組を促進することで、さらなる地域の活性化及び産業の振興を図るため、「SDGs推進に係

神奈川県HP
から



かながわみんなのSDGs受賞式



テクヨコでのセミナー風景



相模原SDGs Expoへの出展

プロジェクト名	観光プロジェクト		
所属部	公益推進部		

定例会日時・頻度	毎月第2土曜日	主な活動場所	かながわ県民センター
担当者氏名連絡先	小西 龍一 koeki@sindan-k.com	人数 (企業内・独立比)	23 (14:9)

プロジェクトの目的	<p>(公社)神奈川県観光協会との連携を活用し、県観光産業の発展に寄与すること及び公益の推進、診断スキル向上、メンバー間の交流・親睦を目的とし、以下の方針で活動する。</p> <p>①神奈川県に対して、有償・無償に関わりなく、中小企業診断士の社会的使命を持って支援する。</p> <p>②会員が、中小企業診断士であることの誇りを持って、県観光業支援に取り組む機会を提供し、その成果を広く協会員へフィードバックする。</p>
-----------	---

活動の紹介	<p>2025年度第3期観光プロジェクト活動実績</p> <p>①神奈川県観光協会との連携による、県内有力観光関連事業者16社への市場動向・各種課題等に関するインタビュー調査及び調査報告書の作成 (1回)</p> <p>②観光関連事業者の支援に関わる活動 (当プロジェクト独自の活動)</p> <p>A) 神奈川県アンテナショップ「かながわ屋」支援活動</p> <p>B) 特定地域観光業状況調査・報告書作成 (小田原市・伊勢原市)</p> <p>③神奈川県観光協会会長による講演会開催 (1回)</p>
-------	--

公募実績 公募予定	<p>第1期 2023年7月公募、メンバー16名、活動期間2023年7月～2024年6月</p> <p>第2期 2024年6月公募、メンバー25名、活動期間2024年7月～2025年6月</p> <p>第3期 2025年6月公募、メンバー23名、活動期間2025年7月～2026年6月</p> <p>第4期 2026年6月公募予定、活動期間2026年7月～2027年6月</p>
--------------	---

メッセージ	<p>神奈川県は「観光により地域が輝く神奈川」の実現に向けて県観光協会との連携を強化、県観光協会は2023年度より県内観光関連事業者景況感調査を行っています。当プロジェクトは同調査の事業者インタビュー・報告書作成の役割を担当、作成した報告書は県・観光庁等に提出され参考資料として活用されています。</p> <p>2024年度第2期プロジェクトより、同インタビュー調査報告書作成活動に加え当プロジェクト独自の活動を開始、2026年度第4期では事業者との接点を増やすことを念頭に独自の活動を更に深化発展させていく予定です。</p> <p>当プロジェクトでは、県内全域にわたる観光関連事業者との直接の接点などを通じ、観光関連の知識の習得を含めた診断士としての経験を積むことができます。また、定例会議後には懇親会を開催 (有志参加)、メンバー間の交流を深める機会を設けています。観光にご関心のある皆様のご応募をお待ちしています。</p>
-------	--

協会HP
観光プロジェクトの
ページ






定例会議時の様子



県観光協会望月会長ご講演(2025年10月定例会議時)



定例会議後の懇親会